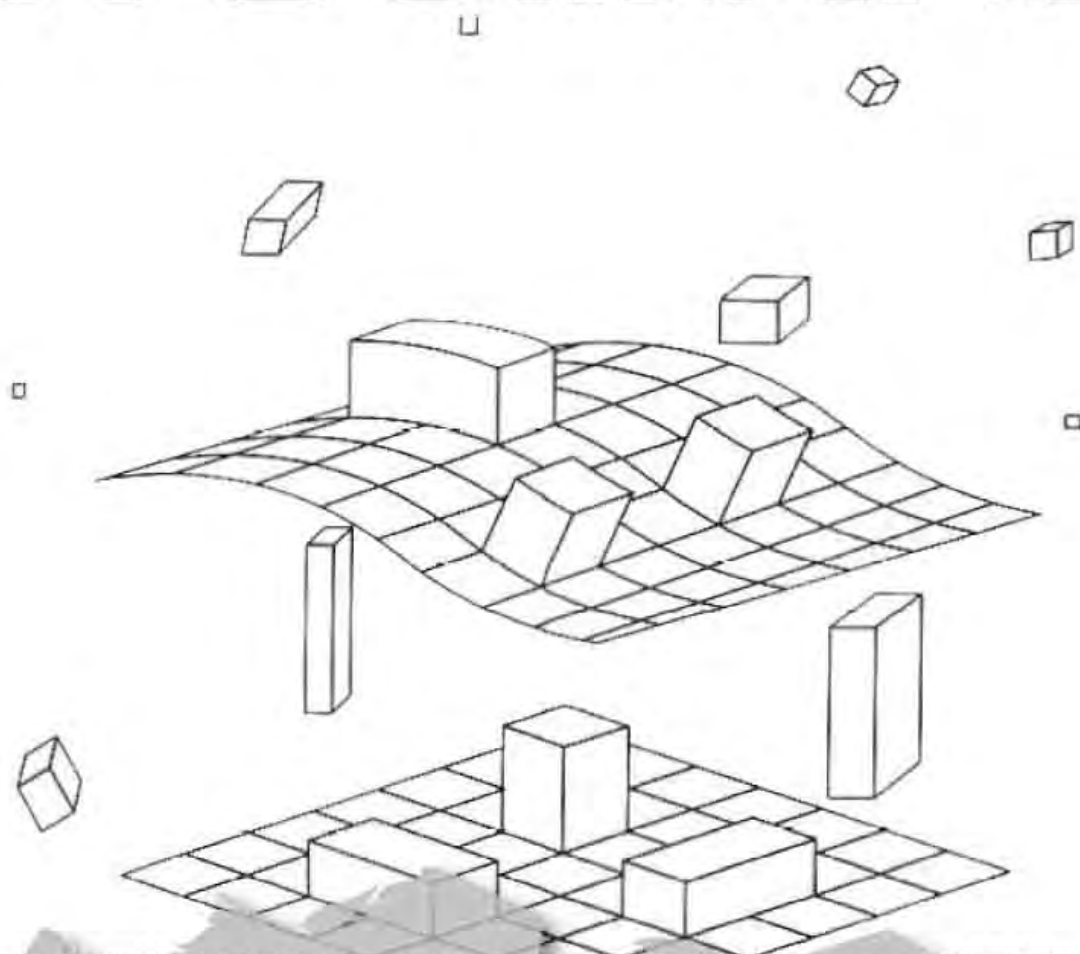


ITSUMIKAI



**会報誌ITSUMIKAIはこの35号をもって休刊し、
ホームページに移行いたします。**

五三会ウェブサイト（ホームページ）
URL <http://www.itsumikai.jp/>

No. **35**
平成20年度版

目次

会長あいさつ	1
先生あいさつ	2
休刊しホームページへ	3
五三会のあゆみ	4
支部だより	5
トピックス	6～8
第34回建築設計競技	9～13
五三会会則	14
五三会活動報告	15
アドレス登録のお願い	16
五三会収支決算報告	17
教職員名簿・スポンサー一覧	18

会長あいさつ

五三会会報誌休刊に寄せて

会員の皆様、その後いかがお過ごしでしょうか。お元気で御活躍の事とお喜び申し上げます。昨年会長に就任致しましたが、あっという間に1年が通り過ぎてしまいました。年間行事を予定通りこなしたという1年であったように思います。

さて、皆様には既にお知らせしておりますように、会報誌が今回の35号にて残念ながら休刊することになりました。五三会の活動につきましてはホームページにご紹介いたしますように、他の同窓会と比較していただきますと、明らかに活動内容に違いがみられ、過去の役員の皆様方の努力の下に大学や社会に対し多くの貢献をして来たのではないかと考えております。34年間の継続がそれを証明しているのではないのでしょうか。しかしながら会報誌が今回で休刊になることは誠に残念でなりません。多くの会員の皆様も同様の事と思います。理由の1つは時代の流れ、社会の流れと言えればそれまでですが、グローバル化、ネット社会の中で私達の生活が大きな影響を受けて参りました。パソコンが今や生活の必需品となりつつあり、多くの分野で必要な情報が全てインターネットの中でチョイス出来る状況が日常の中にあり、五三会も活動や会員相互の情報、大学の情報などがいつでもどこでも得られるという利便性に移行せざるを得なかったと言えましょう。そして若者の活字離れ、携帯電話の普及など、それに拍車を掛けたとも言えると思います。2つ目は同窓会の意味や意義が理解されなくなりつつあり、多くの事例で同窓会離れが起こっているという事もあり、卒業生の会費が集まりにくくなっています。それは小さい時からの自然環境、家庭及び生活環境の変化、そして学校教育などに多くの影響を受け、友人間、親子、親族間の人間関係が希薄になって来ている事も影響していると言えるでしょう。また、以前と比較しますと、各企業の皆様からの支援金が営業、広告費の縮小などにより少なくなっている事などにより、財政的な面で会報誌の作成や送付などの費用の



五三会会長
渡辺武彦 (69年卒)

負担を軽減せざるを得ないという理由もあります。しかしながら大学卒業後、就職して30%の人々が辞めてしまうという今日の社会状況の中で、その大きな理由の1つに人間関係(友人や上司との)が上手く行かない事だという事は皆様も御存知の事と思います。五三会の年間行事の中に、環境学部とのコラボレーションの中で就職ガイダンスがあります。今回も五三会の卒業生の方々5名にパネラーとして参加をお願いし、体験を学生(3年生)諸氏に話していただき好評を得ています。中でも卒業生が入社後すぐ体験する人間関係の悩みにおいて会員の先輩に多くの助けをいただいた話や、ある会社では人間関係を良くする為のセミナーまでであるという話など、学生諸氏はどう受け止めたのでしょうか。病んでいる社会の一面がクローズアップされていると思いましたが、このような社会の中で私達の五三会は益々意義のある同窓会であるはずで。守って行かなければなりません。

今後はホームページの充実を図りつつ、皆様により親しんでいただける五三会を役員の皆様さんと推進して参りたいと思っております。会員の皆様方のより多くの御協力をお願いし、35回目の会報誌の締めくくりとさせていただきますと思います。

皆様方の益々の御発展と御健勝をお祈り申し上げます。



先生あいさつ

会員の皆様へ



環境デザイン学科・地域環境学科
教授 菅原 辰幸

今春卒業された皆様は、大学院等に進学される人を除くほとんどの人が、企業に就職して社会人として活躍されるわけです。社会での活躍を期待いたします。

近年、日本の経済環境は良好とはいえ、企業は非常に厳しい状況の下に置かれているものと思われます。それぞれの企業では、徹底した合理化が推進され、大変厳しい状況が想像できます。一人ひとりの役割や責任も大きく重くなっています。企業は社会的な役割を果たすとともに、収益をあげなくてはなりません。企業活動が継続・発展するためには、新しい技術の開発や改良ならびに技術を継承していくことが大切です。それらの役割を担うことをはじめ、皆さんは、将来、企業を背負って活躍する人材として期待されています。辛く厳しいこともあるでしょうが、やり甲斐があり、夢もあります。早く会社に溶け込んで、先輩を見習ったり上司からの教えを受けたりしながら、将来を見据えて積極的に行動してください。いつも、あなたの周りの人たちや仲間そして、上司が見つめています。助けてもくれるはずですよ。自分の5年先、10年先、20年先の姿を想像して日々研鑽してください。そして、会社を支え、背負い動かせる人材に育っていただきたいと思っております。

さて、五三会会員である同窓の皆様、お元気でご活躍のことと拝察いたします。皆様卒業されて何年が経ちましたでしょうか。1期生が卒業してから39年が経ちました。もうすぐ40年になります。年月の経つのは早いんですね。昭和44年に卒業された1期生の方は61歳になっておられるはずです。10期生は52歳、20期生は42歳、建築学科の最後の卒業生(27期生)は35歳です。

旧建築学科の卒業生の皆さんは35歳以上ということになります。皆さんが社会を中心的に支えている世代ということになります。これらの先輩に続いて、環境デザイン学科と建設工学科建築工学コースの卒業生が社会で活躍されているわけです。広島工業大学の建築・環境系の卒業生は、新入社員から定年を迎える時期の社員まで、すべての世代で活躍されている状況になってい

ます。これからは、社会の第一線で活躍する広島工業大学の卒業生が入れ替わりながら繋がっていくことになります。工大のカラーが社会で上手く引き継がれていくことでしょう。

多方面から大学の情報を得られていると思いますが、大学の様子を少しお知らせいたします。平成18年度から、工学部は電子情報工学科、電気・デジタルシステム工学科、機械システム工学科、知能機械工学科、都市建設工学科、建築工学科の6学科、情報学部は情報工学科、知的情報システム学科、健康情報学科の3学科、そして、環境学部は環境デザイン学科、地域環境学科、地球環境学科の3学科に変更されました。3学部12学科に変更されたわけです。(平成5年に環境学部が設置され、平成18年に情報学部が設置されました。)

皆さんに興味のある学科の変化を見ますと、平成5年に建築学科が、環境学部環境デザイン学科と工学部建設工学科の建築工学コースに分離変更されました。その後、平成11年に環境デザイン学科から環境情報学科が分離されました。そしてこの度、平成18年に環境学部の環境デザイン学科から地域環境学科が分離設置されました。また、工学部の建設工学科の建築工学コースも、今回、建設工学科から分離され、建築工学科が設置されました。

大学も社会に対応して進化しております。社会のニーズや少子化の時代に対応するとともに、多様な経歴を持つ入学生を受け入れ教育する努力がなされています。「教育改革18」を掲げて遂行していくことによる「HIT教育」(工大ブランド)の確立を目指しています。

また、キャンパスにも大きな変化が起こっています。野球場だった所に2008年度の完成をめざして、大学の中心施設として新講義棟の建設が進められています。魅力的なキャンパスに変貌していくはずですよ。時間が取れましたら、大学に足を運んでください。

最後に、五三会の発展と会員の皆様方の益々のご活躍を祈念申し上げます。

会報誌休刊とホームページ移行のお知らせ

会報誌ITSUMIKAIは休刊し、会報はホームページに移行いたします

皆様、永らく会報誌ITSUMIKAIをご愛読いただきましてありがとうございました。

ご承知のように私たち五三会は、今日まで限られた会費収入の中で建築設計競技などの特徴ある活動を継続してまいりました。厳しい台所事情の中で本会の事業の大きな柱のひとつである会報誌につきましても見直しを進め、平成14年度の29号から体裁を簡素化し、印刷費や郵送料などを削減してきました。また、取材や編集作業のほとんどを会員のボランティアで支えながら継続してまいりました。しかしながら、毎年、会報誌をお送りする会員数が増加して行く一方で、卒業時の終身会費が主な収入源の現状では、これ以上会報誌を印刷、郵送し続ける財源の確保が難しくなってきました。

一方で数年前より五三会ホームページを立ち上げ、会員の皆様に情報を提供してまいりました。この度、

いよいよ会報誌を当35号をもって休刊し、会報をホームページ移行させていただくことになりました。ホームページも改良を重ね2008年3月から、近畿支部、東京支部の行事案内などを行う「五三会支部デスク」や、過去から現在までのすべてのゼミに掲示板を提供する「OBゼミルーム」、職場や現場の質問を受け付ける「在学生ヘルプデスク」、採用、学生アルバイト募集などの情報を掲載する「求人カウンター」を新たに設置いたしました。今後は、皆さまへのタイムリーな情報提供はもちろんのこと、インターネットというメディアの特徴を生かし、会員相互でも情報交換ができるようなホームページに育てて行く予定です。まだ、ホームページをご覧いただいていない方は、是非ともアクセスならびにお気に入り登録をお願いいたします。さらにホームページに関するご意見やご希望、投稿などをお待ちしております。

五三会ホームページ
<http://www.itsumikai.jp/>

最後になりましたが、長年、会報誌ITSUMIKAIをご愛読いただいた皆様と、1号から発行を支えてこられた役員の方々に、紙面をお借りしてお礼申し上げます。

五三会広報担当 松田智仁 (80年卒)

昭和19年3月25日 五三会 第1号

広島工業大学 建築学科同窓会
五三会会報

第1回建築学科同窓会総会開催!
卒業生の皆様へ

菅根田 彰

「昔懐かき建築学科の同窓会が、ついに再開する。第一回の総会を盛り立ててくれる五三会の力があってこそです。卒業生を招き集めてくれるのは、同窓会という名の絆を共有する仲間が、今もなお互いに支え合っていることを示しているのだと思います。今、改めてこの同窓会を盛り立てることは、卒業生としての責任と義務を感ずるものがあると思います。同窓会という名の絆を共有する仲間が、今もなお互いに支え合っていることを示しているのだと思います。」

「同窓会という名の絆を共有する仲間が、今もなお互いに支え合っていることを示しているのだと思います。」

第1号

発行 広島県外五日市町三宅
 広島工業大学「五三会」
 代表 菅根 彰

総会・懇親会案内

- 日時 5月12日(日曜日)
 ・ 総会 3時～
 ・ 懇親会 4時30分～
- 場所 広島県共済会館
 広島市東区白島町19-6-5
 電話 22-3738
- 会費 3千円
 [年別会費等と一緒に送金して下さい]
 ● 会費の都合により、お支払が4月20日までには届きませんので早くお支払をお願いします。届込みに下さい。
 ● 入会金・年会費・年会費等・年会費も同時に届込んで下さい。

会場案内図

五三会のあゆみ

建築・環境系学科

1965年 (S40)	4月 建築学科 開設
1969年 (S44)	3月 建築学科 一期生卒業
1986年 (S61)	4月 建築学科コース制導入 ・デザインコース ・エンジニアリングコース
1993年 (H5)	4月 工学部 建築学科を改組 環境学部 環境デザイン学科 開設 工学部 土木工学科 建築工学コース 増設
1997年 (H9)	3月 環境デザイン学科 一期生卒業 4月 工学部 土木工学科を改称 工学部 建設工学科 建築工学コース
2004年 (H16)	4月 環境デザイン学科コース制導入 ・建築デザインコース ・福祉住居インテリアコース ・環境マネジメントコース
2006年 (H18)	4月 学部学科の大きな改組転換 環境学部 環境デザイン学科 改組 地域環境学科 開設 工学部 建築工学科 開設
2008年 (H20)	4月 同上 新学科学生 3年生
2009年 (H21)	4月 同上 新学科学生 4年生
2010年 (H22)	3月 同上 新学科 一期生卒業

五三会

1969年 (S44)	3月 一期生 卒業
1973年 (S48)	8月 五三会 設立 10月 会報誌 特別号 発刊
1974年 (S49)	3月 会報誌 第1号 発刊 5月 第1回 五三会総会 開催
1975年 (S50)	第1回 設計コンペ 開催
1981年 (S56)	3月 会報誌 名簿合併号 発刊
1982年 (S57)	終身会費に変更
1984年 (S59)	五三会 近畿支部 設立 第10回記念 設計コンペ 開催
1994年 (H6)	5月 建築学科 創立30周年・ 五三会 創立25周年記念祝賀会 [広島全日空ホテル] 記念誌・卒業生名簿 発刊 第20回 記念設計コンペ 開催
1997年 (H9)	4月 第29回 五三会懇親会 (創立29年) [メルパルク広島]
2001年 (H13)	ホームページ 試験開設
2003年 (H15)	第30回 記念設計コンペ 開催 ホームページ 本格運用開始
2004年 (H16)	6月 五三会 創立35周年記念パーティー [リーガロイヤルホテル広島]
2006年 (H18)	4月 広島工業大学同窓会 創立40周年記念式典・懇親会 [広島サンプラザ] 五三会 東京支部 設立
2008年 (H20)	3月 会報誌 第35号 発刊 (以降休刊)
2009年 (H21)	五三会 創立40周年
2019年 (H31)	五三会 創立50周年

支部だより

東京支部

杉本賢司 (72年卒)
(株)タイセイ総合研究所

会誌からホームページへの移行への節目になりますね。五三会東京支部では設計、ゼネコン、大学、出版など幅広い分野でみなさんが活躍をしています。後輩たちの就職にあたってはこうした先輩の知恵や経験、人脈が役に立つことでしょう。さて、今回は山田誠司氏の活躍を紹介しましょう。広島工大を卒業後、清水建設に入社し、のちに社寺建築の家業に研鑽を積んでいます。社寺建築は200年も前から受け継ぎ岩国域の普請からはじまっているとのこと。こうした伝統建築の家伝の見識を浅草の日本色彩学会主催の講演会で、伝統建築の不燃化や施工方法について語っていただきました。伝統的な槍鉋(やりがんな)や手斧(ちような)の実物を披露していただき日本の伝統建築の重さを感じたところです。現在の鉋は江戸時代に発明されたもので正式には台鉋(だいがんな)です。お寺のように都心に建設される大規模木造建築は防災の規制によって新築が制限されることが多く、コンクリートで木造の形を精密に複製してフッソ塗料で彩色を行う事例が増えていること、巨木を使わずに鉄骨で柱をつくり耐震性を高めたものにする手法も発表されました。時代とともに社寺建築も変化しているようです。

最後に東京の広島スポットを紹介します。飯田橋の交番のそばに広島のお好み焼き「檸檬」があります。ここは、すべてが広島で塗りこめられ、カーブとおたふくソースの匂いであふれています。おたふくソースにはドバイなどでとれるデザートとよばれる椰子の実が独特の甘さを醸し出しているのはご存じでしたか。上京をして慣れるまでのストレスに負けないようお好み焼きで体力を復活して健康に留意してください。建設経済はら5兆円の枠を超えられず海外工事の増大が進んでいます。国際社会に対応するAPECエンジニアの資格を取得する英会話の学習なども求められ仕事の中身も変わってきています。

五三会東京支部

〒112-0002

東京都文京区小石川5-4-13-303 杉本賢司

電話/FAX 03-3944-1958

E-mail k-sugimo@wa2.so-net.ne.jp

幹事: 杉本賢司 (72年卒)

副幹事: 垣中祐二 (85年卒)



近畿支部

大森正夫 (81年卒)
京都嵯峨芸術大学教授

「清薫」は永遠に。

～近畿地区でご活躍の皆さんへ～

2007年秋、まちづくりの新技术として「神戸ピエンナーレ」という隔年開催の国際総合芸術祭を立ち上げました。その事業の企画段階でOBの齋木嵩人さん(4月より神戸芸術工科大学長)とタッグを組むことができました。齋木さんは地井研から東京へ、僕は水田研から京都へ進みましたので在学期間の違いも含め、残念にも接点がありませんでした。しかし、神戸での事業を巡って二人になったある時、広島工大出身者共通に漂う独特の力についての話しになりました。これまで多くの教育機関や建築関係者と関わってきましたが、共通の薫風に潜む力を確認できたのははじめてでした。OBの居ない世界が日常になっている者にとって、大学は遠い記憶ではありますが、身体に潜む清薫として滲み出ているものなのでしょう。

私はかつて禅語の「清薫」と言う言葉を「清薫ほど受けた恩への感謝はない。最も会得しがたく有成しがたいものである。そこはかどなく漂い、我意に染み入る。清々しい香気は場を浄め、心を静める。静寂と安住。澄みきった心在る者に清薫は漂う。(一花一生: 淡交社刊)」と翻訳したことがあります。

自らの志と関係性を拡張しながら日々過ごさせている方々も、広島で吸い込み肌にも染み付いた薫風を共有した者たちの存在を確認することは普段得られない安らぎを覚えるものではないでしょうか。大学から時間も空間も少し離れたと思われる方、時には集まってみませんか。夜桜に観月に紅葉狩り、納涼に温泉に送り火。私は、京都の空間を隠棲地・嵐山でのんびり研究しています。ゆったり時を過ごす場所には事欠きません。近畿支部は25年ほど休会していますので、再開の場を設けようかと思えます。連絡先を五三会のHPにてアドレス登録してください。また、何か良い提案がありましたらEメールでお知らせください。

五三会近畿支部

〒616-8362

京都市右京区嵯峨五島町1番地

京都嵯峨芸術大学 芸術学部 大森研究室内

電話075-864-7869/FAX075-881-7133

E-mail oo-oomori@kyoto-saga.ac.jp

幹事: 大森正夫 (81年卒)



トピックス

学生大賞決定・コンペ入選者

平成19年度 五三会学生大賞 決定

今年度の環境デザイン学科・建設工学科（建築工学コース）の卒業設計作品の中で、五三会顕彰制度認定事業委員会が審査を行い、優秀と認められた学生に対し表彰を行います。

平成19年度 五三会学生大賞

受賞者：北来 浩樹

環境デザイン学科 遠藤研究室

作品名：同好結合

-船橋西古谷住宅の再生-



平成19年度 五三会学生大賞 奨励賞

受賞者：三好 絢子

環境デザイン学科 村上研究室

作品名：Alternative Hiroshima

平成19年度 五三会学生大賞 奨励賞

受賞者：遠茂谷 貴子

環境デザイン学科 遠藤研究室

作品名：女性が学ぶ場から広がる空間

平成19年度 コンペ入選者

1月現在での在学生のコンペ受賞状況です。今年度も、全国のコンペに多数入選しております。

表記：

コンペ名

受賞名・受賞者

所属

2007年度支部共通事業 日本建築学会設計競技

「人口減少時代のマイタウンの再生」

タジマ奨励賞と佳作

三好 絢子、森田 淳、龍野 裕平

環境デザイン学科4年



2007年度支部共通事業 日本建築学会設計競技

「人口減少時代のマイタウンの再生」

中国支部入選 戸田 祐輔

大学院 環境学研究科地域環境科学専攻2年
建築環境コンペティション

「身体と頭脳を鍛えるコミュニティモデル」

佳作 戸田 祐輔

大学院 環境学研究科地域環境科学専攻2年

産学連携3大学合同デザインコンペティション

「Dining Renovation~Go Back to the Basic」

優秀賞 遠山 義雅

環境デザイン学科3年

産学連携3大学合同デザインコンペティション

「Dining Renovation~Go Back to the Basic」

部門賞 空間部門、藤本 直憲

環境デザイン学科3年

産学連携3大学合同デザインコンペティション

「Dining Renovation~Go Back to the Basic」

入選 佐伯 舞、平田 康晶、峠山 寿子、
升本 徳之

環境デザイン学科4年

産学連携3大学合同デザインコンペティション

「Dining Renovation~Go Back to the Basic」

入選 相良 宗一郎、岡本 卓哉、
山新田 裕也、龍野 裕平

環境デザイン学科4年

第11回TEPCOインターカレッジデザイン選手権

「非家族と暮らす住宅」

佳作 花岡 芳徳、森田 淳

花岡：大学院環境学研究科地域環境科学専攻1年

森田：環境デザイン学科4年

第11回TEPCOインターカレッジデザイン選手権

「非家族と暮らす住宅」

佳作 三好 絢子、吉田 佑介、和気 聡志

三好：環境デザイン学科4年、

吉田、和気：環境デザイン学科3年

トピックス

就職ガイダンス・交流会・学生会の活動

卒業生『五三会』を講師とした業界研究会 ～在学生への就職ガイダンス～

開催日：平成19年11月12日（月）

場 所：広島工業大学 4号館 101号室

平田 欽也（85年卒）

この行事は在学生の就職活動を支援することを目的として、環境デザイン学科と五三会が共同で開催しました。参加した在学生は主に3年生で、就職活動をスタートしたばかりです。さまざまな分野でご活躍されている当会の会員が講師となり、それぞれの仕事の特徴や、やりがい、苦勞、日々の仕事などについて具体的に話していただきました。これから業種を決定する学生は、大きな参考になったことと思います。また、講師の方々の仕事に対する熱い思いも学生達に伝わっていたようです。

業界研究会講師（順不同敬称略）

- ・ハウスメーカー
福垣内秀典（97年卒）：積水ハウス㈱
- ・建材メーカー
木原 充博（95年卒）：㈱ウッドワン
- ・ゼネコン（設計）
辰巳 公一（83年卒）：清水建設㈱
- ・ゼネコン（施工管理）
中村 智治（99年卒）：広島菱重興産㈱
- ・インテリア
流森 由美（93年卒）：大昌工芸㈱

五三会交流会

開催日：平成19年11月12日（月）

場 所：広島工業大学 大学会館203号室

吉川 英明（88年卒）

業界研究会終了後、場所を大学会館に移して五三会主催の懇親会を開催いたしました。卒業生や講師の方々と多数の在学生が参加していただきました。学生から講師の先輩に直接話しを聞けるまたとないチャンス。準備を手伝って下さった学生会「匠会」の司会進行で、さまざまな質問が飛び出していました。講師の皆さんもしばし学生時代をふり返り、ざっくばらんに後輩にエールを送っていらっしゃいました。



環境デザイン学科学生会 「匠会」の活動について

会長 田中 秀明（3年生）

匠会では、4月に新入生のオリエンテーションセミナーに協力学生として参加し、全体行事を決め、準備・進行もしていきます。そこでは気軽に先輩や同学年とコミュニケーションのできる場を設け楽しんでもらい、最初の思い出として残るように企画しています。

またこれから建築見学会、学祭での学科展示、8大学卒業設計展、謝恩会などの企画・準備が主な活動となります。今年は呉で隈研吾氏のプロジェクトがあり、広島の各大学、高専の代表者が集まり、隈研吾氏の講演会を行いました。この時は講演会の記録、展示物のレイアウトをしました。実際に隈研吾氏と話す機会があり、とても貴重な時間を過ごすことができました。

私は2年次始め頃に匠会に入り行事に参加してきましたが、3年次に引継ぎをして本格的に活動を始めました。2年次の時は言われたことだけの作業でしたが、現在は先生とのやり取りや学生への連絡、話し合いなどに追われています。早めに活動を始めて来たつもりですが、自分自身の課題やゼミなどの合間に活動するのではなかなか思うように進みません。まだ活動し始めたばかりで何かと時間ばかりかかっていると思いますが、匠会の仲間と協力し合い、一つ一つ進めたいと思います。この匠会での活動が、今後の自分の自信へとつながるように楽しみながら頑張ろうと思います。

トピックス

建築見学会—学生の感想文—

平成19年度 五三会建築見学会

木下 和夫 (88年卒)

本年度の五三会建築見学会は、日帰り可能な範囲で、出来るだけ多くの著名な建築物を見学したいという趣旨で、出雲方面まで足を伸ばしました。

1台の大型バスで、道中では学生とOBがひとりずつ感想や意見を出し合い、有意義な一日となりました。

開催日：平成19年9月29日（土）

見学場所／設計者

大社文化プレイス

／伊藤豊雄建築設計事務所

出雲文化伝承館／不詳

出雲大社庁の舎(や)

／菊竹清訓建築設計事務所

出雲大社本殿／不詳

島根県立古代出雲歴史博物館

／榎総合計画事務所

「建築見学会に参加して」

環境デザイン学科3年
村上ゼミ 田中 秀明

今回の五三会建築見学会は、歴史的な建築の出雲大社本殿や出雲文化伝承館、新しい大社文化プレイスや古代出雲歴史博物館と、年代が様々なものが見られてよかったですと思います。

特に大社文化プレイスは開口部のガラスに空が映り込んでいたり、図書館部分の外壁が丘になっていたりと、また、古代出雲歴史博物館のランドスケープが色々な仕掛けがあったりと、中の展示物を見なくても楽しい時間を過ごせたと思います。この2つの建築物は自然を取り込んだ作品だと思います。このようなどころを今後の自分の作品に生かせたらいいと思いました。

今回の五三会建築見学会は2回目の参加ということで、去年と比べると建築物の見方や捉え方が違って来たように思います。来年も参加して見方や捉え方が変わるように自分も成長してゆきたいと思います。

環境デザイン学科4年
水田ゼミ 吉田 祥子

緑の使い方や光の取り入れ方がとても勉強になりました。歴史のあるものから新しいものまで見学することができ、どれも出雲の自然を取り入れ、以前から興味を持っていたもので実際に見ることができてよかったです。

昼食の出雲そばもとても美味しかったです。出雲ドームや江角邸の造りが一般のものとは異なり、大きな梁や冊子の使い方にはとても驚き、新しいものばかりではなく、古い技術ももっと学び、見て、伝承していかなければならないと改めて感じました。

勉強はもちろんのこと、コンペや卒業研究の間の息抜きになり、遠足気分でもとても楽しい思い出になりました。

環境デザイン学科4年
水田ゼミ 児玉 亮太

初めて参加したのですが、とてもよい旅でした。

特に自分が感心させられたのは、榎さんの古代出雲歴史博物館で、背景の大自然を大きく取り込むような建築、ランドスケープの関係性です。ちょっとした石段だったり、水壺だったり、木につけられた風鈴、水の遊び方、すべてにおいて配慮がされており、知的な感じをすごく受けました。

こういった体験は図面上ではできなくて、自分の足で歩き、見るという行為で初めて自分の力になることだと感じ、とても勉強になりました。



第34回五三会建築設計競技結果報告

課題：もてなしの水辺 ～船上レストランを核とした水辺空間～

主幹事：岡田 英治（89年卒）

34回目となる本年度事業は、課題を「もてなしの水辺 ～船上レストランを核とした水辺空間～」と題し行われました。

今年も審査員に、昨年同様、若手建築家として現在ご活躍の、河口佳介先生、谷尻誠先生、土井一秀先生そして五三会幹事長でもある、古本竜一先生の四人の先生方をお願いいたしましたところ、みなさんご多忙にも関わらず快くお受け下さりました。

本年度も、準備の不適際から応募期間を十分に設けることができませんでしたが、昨年12月5日に応募締切を迎え、広島工業大学をはじめ、諸大学、高専そして専門学校から計37作品の力作が寄せられました。

12月15日に、広島市まちづくり市民交流プラザ内のギャラリーにおいて、審査員の先生方にお越しいただき、応募された学生の皆さんや広島でご活躍中の建築家の先生方など約50名以上が見守る中、公開審査会が執り行われました。

審査会に先立ち、広島市観光交流部で水の都構想のご担当でいらっしゃる空田英明さまより、広島市の水の都構想についてのお話を伺いました。審査は五三会副会長で建築家としてご活躍の平田欽也先生にコーディネーターをお願いしました。

まず一次審査通過相当の作品を選出したのち、惜しくも選にもれた応募作品一つ一つに講評をいただきました。一次審査を通過した作品については、応募された方に一作品3分間でプレゼンテーションを行い、審査員の方々からの質疑応答を行いました。

今回は、一次審査通過者が全員出席されており、また、模型やプロジェクターを用いるなど力の入ったプレゼンをされたグループもあり、非常に有意義な時をすごすことができました。

その後、審査員の先生方の投票、協議、再び投票を経て各賞を決定しました。

審査終了後も空田さまのお話を伺い、作品への評価と学生諸君へのエールをいただきました。

応募総数の多さもさることながら、どの応募作品も力作揃いで甲乙つけ難く、大変悩まれた様子でした。審査結果は別記の通りとなりました。

入選の皆さん、おめでとうございました。

残念ながら誌面の都合により、ここでは入選作品の紹介のみにとどまらせていただきますが、応募された作品はどれも、一生懸命に取り組まれた様子が感じられました。

今後とも、この設計競技がより発展していきますよう、皆様方の一層のご理解とご協力をお願い致します。

最後になりますが、先生方、空田さまにはこの建築設計競技事業にご理解を頂き、ご多忙の中審査、講評そして座談会にと貴重なお時間を割いて頂きましたことお礼申し上げます。

また、本年度事業も時間的余裕のあまりないスケジュールでしたが、遠方を含み多くのご応募をいただき、応募して下さった皆様にお礼申し上げます。ご参加ありがとうございました。

以上にて、本年度建築設計競技事業の報告を終わります。

審査結果（敬称略）

最優秀賞

龍野 裕平 佐藤 沙耶 中村 萌 小松 秀暢
(広島工業大学)

最優秀賞

石井 正人 重安 愛実 吉野 仁美
(呉工業高等専門学校 富田英夫研究室)

優秀賞

松井 俊樹 山田 篤 胡麻田 悟史 鈴木 聖明
(近畿大学大学院システム工学研究科)

優秀賞

河南 透 森田 淳 遠山 義雅 藤野 博文
(広島工業大学大学院 村上徹研究室)

審査員特別賞

下 大蔵
(東北大学工学部建築学科 都市・建築理論 五十嵐太郎研究室)

審査員特別賞

守本 明生 三次 智史 奥原 吉博 岡 勇士
(広島工業大学大学院)

審査員特別賞

花岡 芳徳 三好 絢子 入口 佳勝 田中 秀明
(広島工業大学)

審査員特別賞

岩田 翔士 伊藤 咲穂
(呉工業高等専門学校 闊瀬研究室)

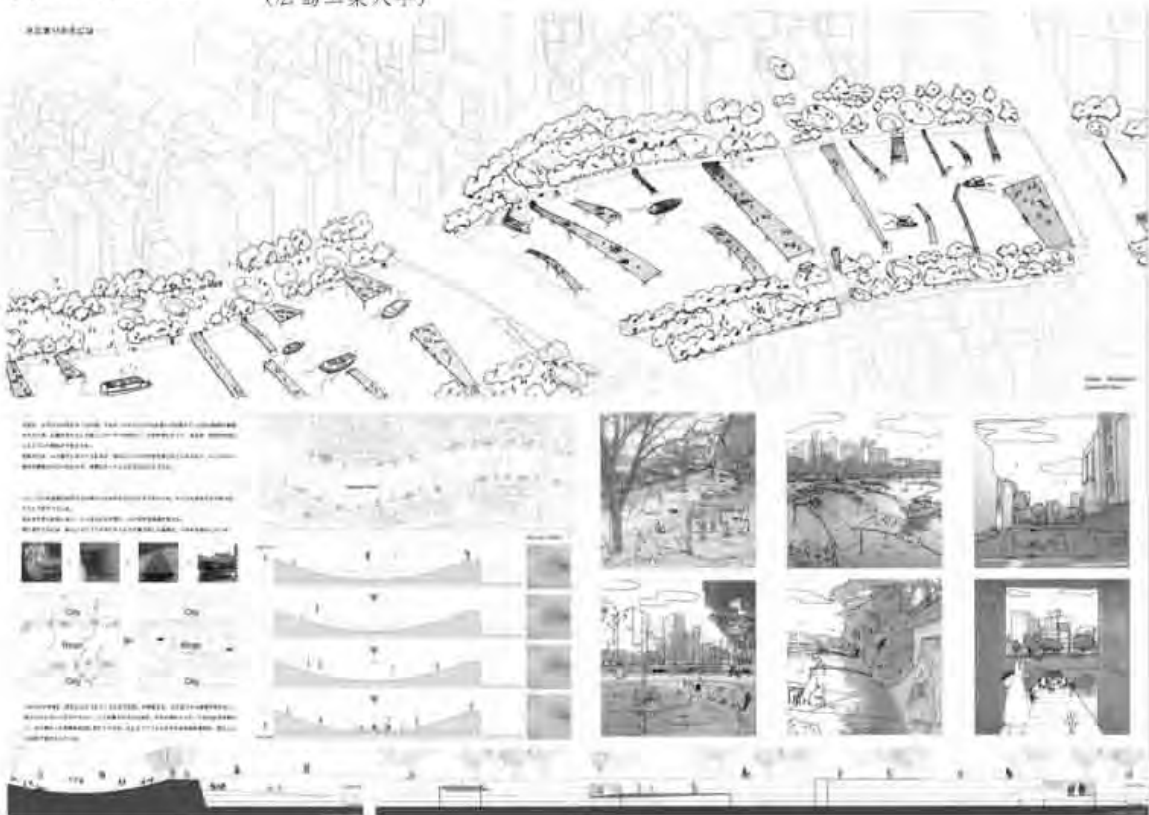


審査員（五十音順・敬称略）

建築家 河口 佳介（かわぐち けいすけ）
建築家 谷尻 誠（たにじり まこと）
建築家 土井 一秀（どい かずひで）
建築家 古本 竜一（ふるもと りゅういち）

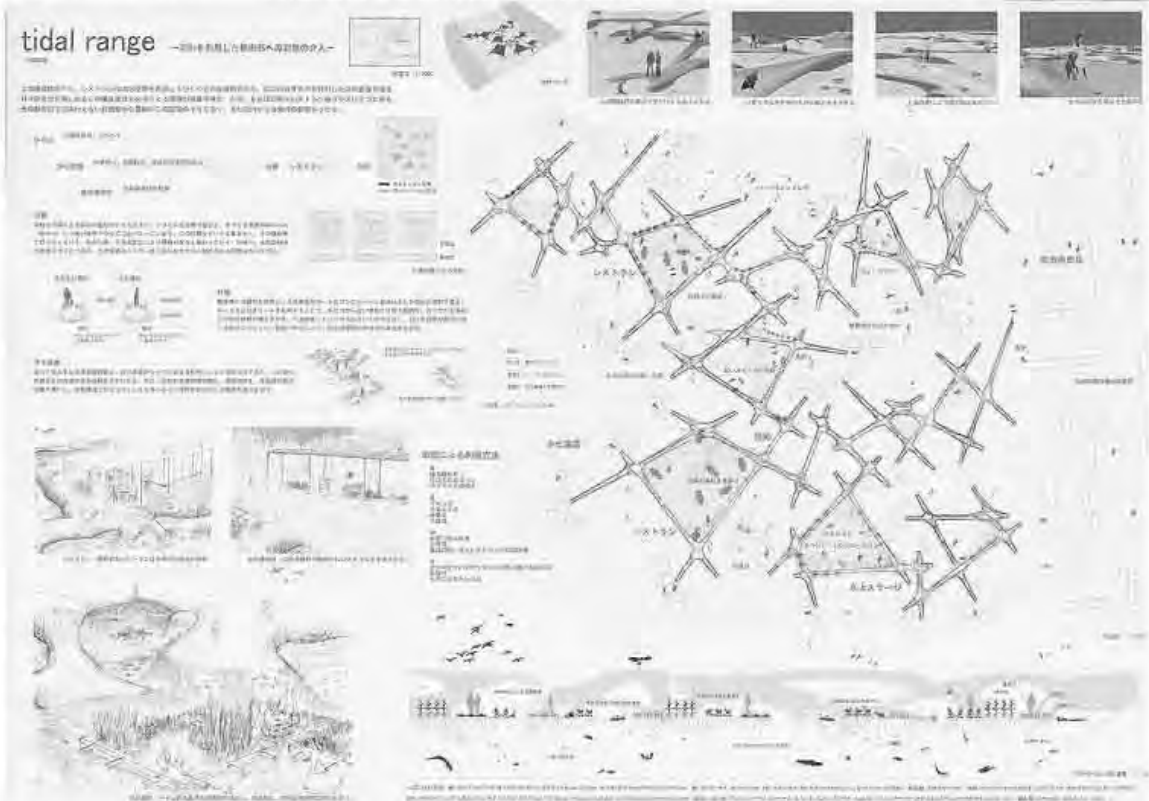
最優秀賞

龍野 裕平 佐藤 沙耶 中村 萌 小松 秀暢
(広島工業大学)



最優秀賞

石井 正人 重安 愛実 吉野 仁美
(興工業高等専門学校 富田英夫研究室)



優秀賞

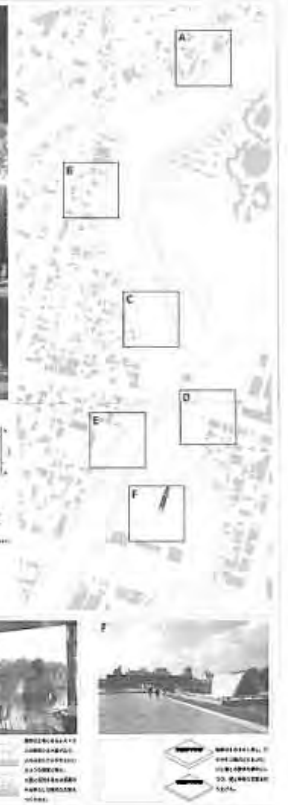
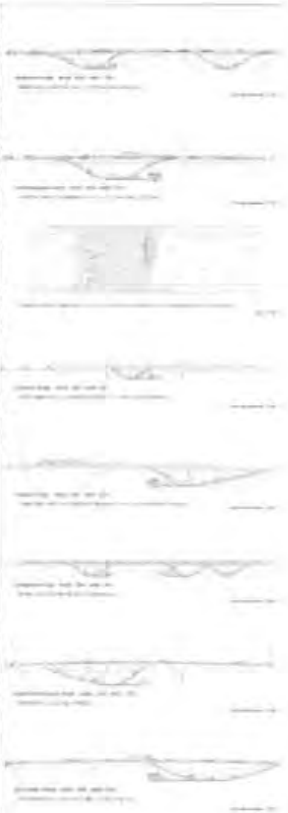
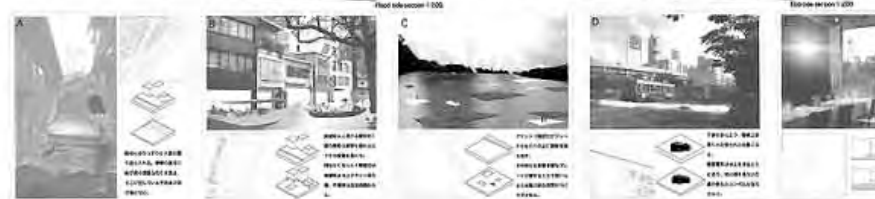
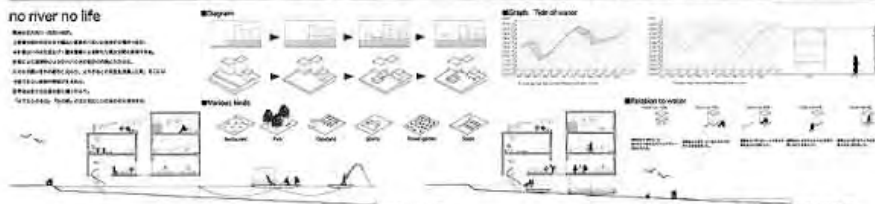
松井 俊樹 山田 篤 胡麻田 悟史 鈴木 聖明
(近畿大学大学院システム工学研究科)

TARERU



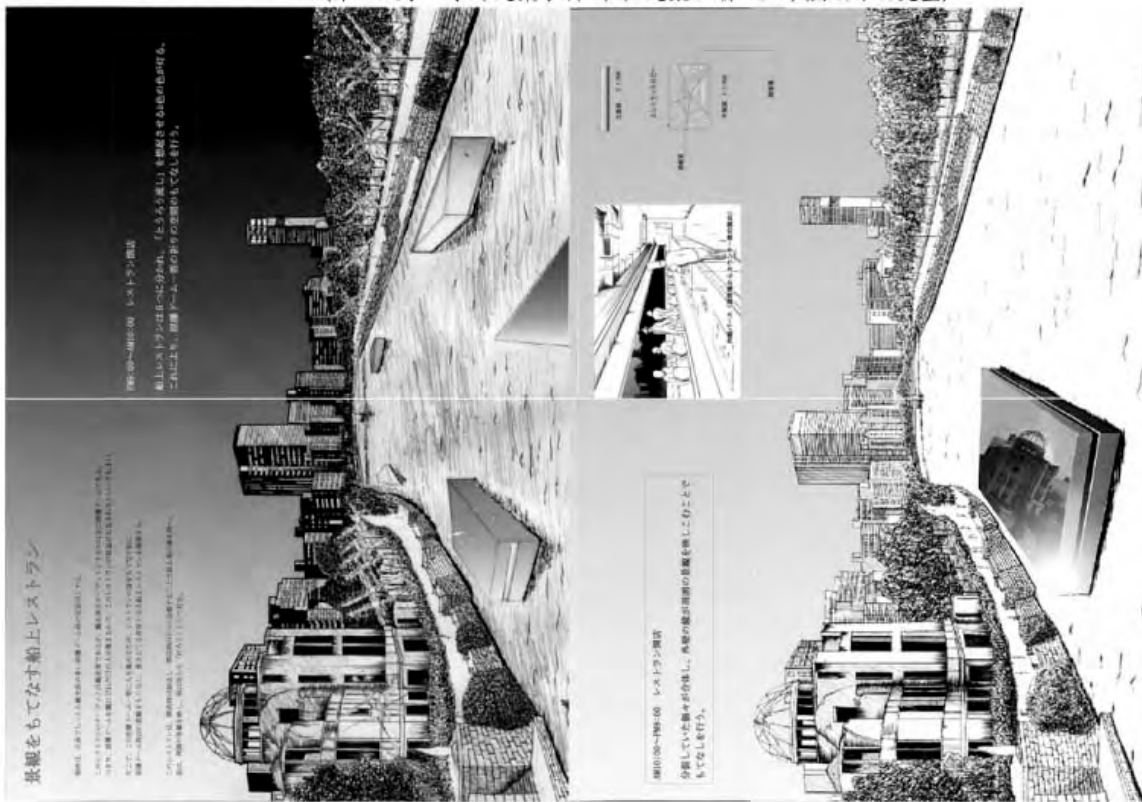
優秀賞

河南 透 森田 淳 遠山 義雅 藤野 博文
(広島工業大学大学院 村上徹研究室)



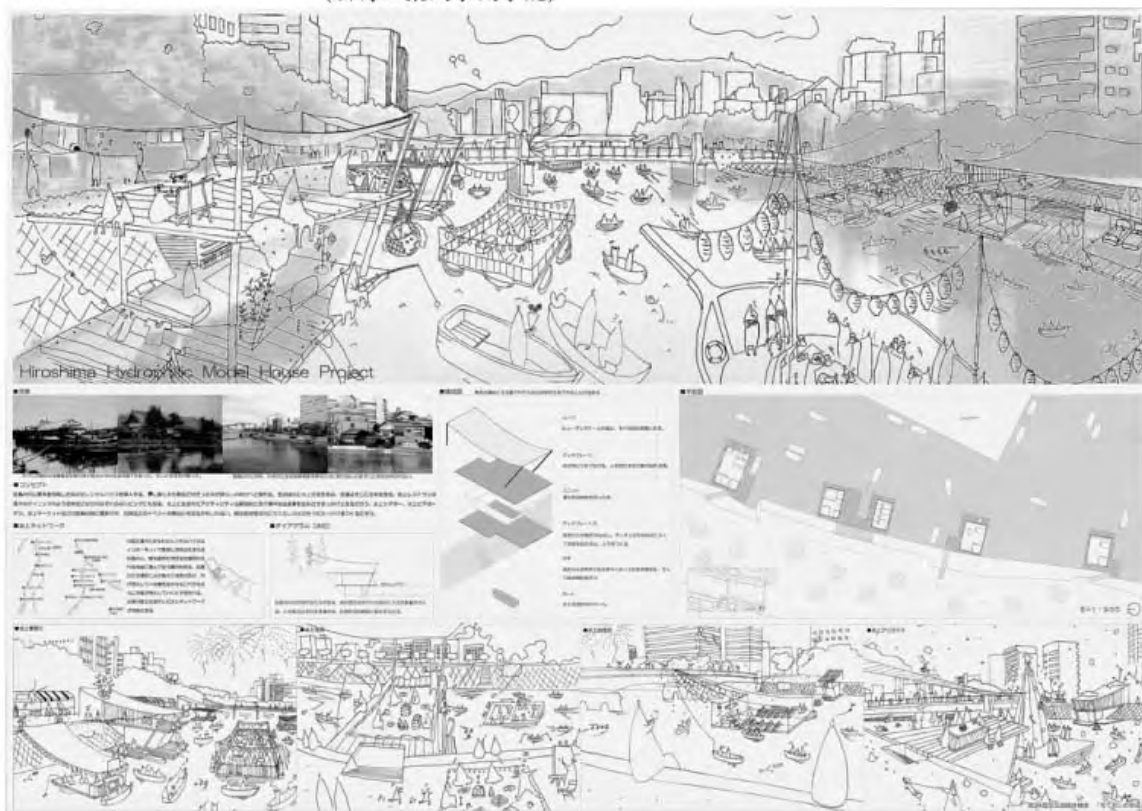
審査員特別賞

下 大蔵
 (東北大学工学部建築学科 都市・建築理論 五十嵐太郎研究室)



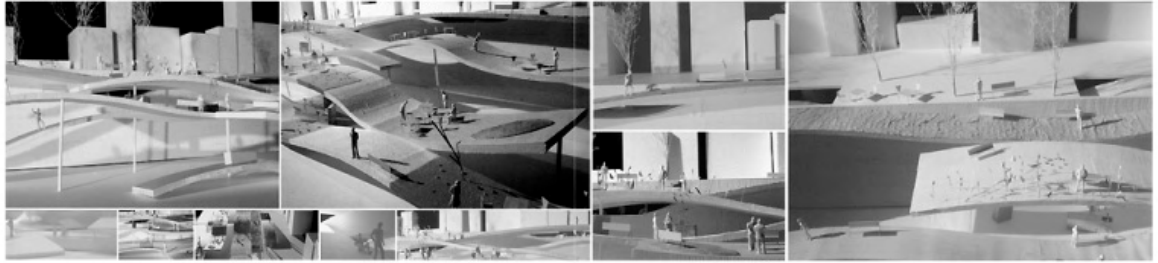
審査員特別賞

守本 明生 三次 智史 奥原 吉博 岡 勇士
 (広島工業大学大学院)



審査員特別賞

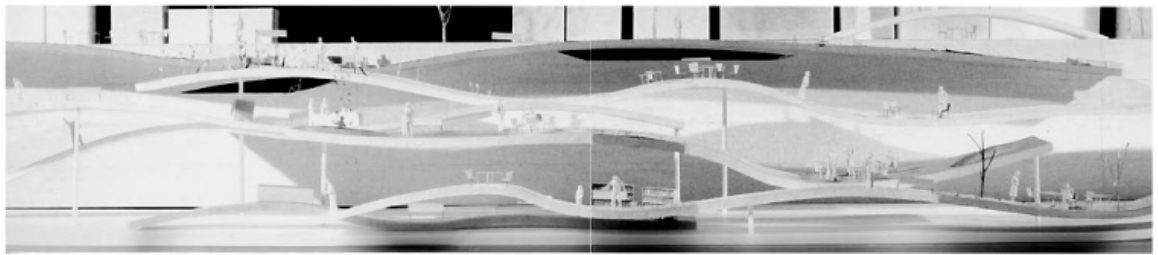
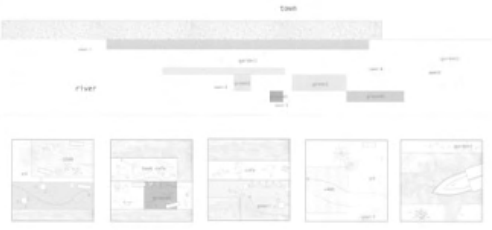
花岡 芳徳 三好 絢子 入口 佳勝 田中 秀明
(広島工業大学大学院)



本館の立地環境

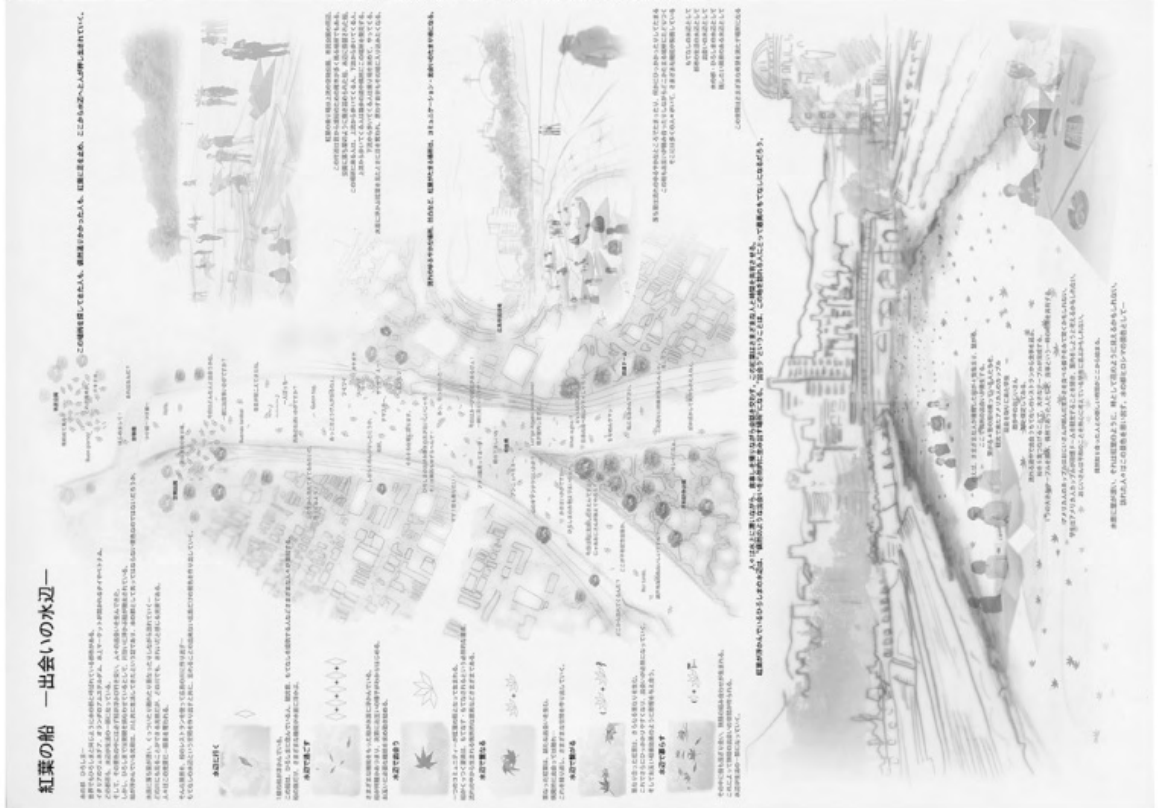
本館は、広島県広島市東区に位置し、広島工業大学の敷地内にあり、周囲は住宅地と商業地が混在している。本館は、地域の活性化と、大学の機能の充実を図ることを目的として、地域の歴史と文化を継承し、新しい建築を創出することを目指している。

本館は、地域の歴史と文化を継承し、新しい建築を創出することを目指している。本館は、地域の歴史と文化を継承し、新しい建築を創出することを目指している。



審査員特別賞

岩田 翔士 伊藤 咲穂
(呉工業高等専門学校 間瀬研究室)



広島工業大学建築・環境系同窓会

「五三会」会則

第一章 総則

- 第1条 本会は、広島工業大学建築・環境系同窓会と称する。
- 第2条 本会は、本会に属する者による、建築・環境系同窓会として、その活動の発展を図ることを目的とする。
- 第3条 本会は、本会に属する者による、建築・環境系同窓会として、その活動の発展を図ることを目的とする。
- 第4条 本会は、本会に属する者による、建築・環境系同窓会として、その活動の発展を図ることを目的とする。

第二章 会員

- 第5条 本会は、下記の者を以て組織する。
- 正会員
 - 広島工業大学建築・環境系卒業生(大学院を含む)
 - 準会員
 - 広島工業大学建築・環境系卒業生以外で、本会に属する者
 - 母体である広島工業大学建築・環境系に在籍する学生(大学院生を含む)
 - 特別会員
 - 本会に貢献し、名誉会員としてふさわしいと認められたもの

第三章 役員

- 第6条 本会は、下記の役員を置くことができる。
- 名誉会長
 - 会長
 - 副会長
 - 会計監査
 - 幹事
 - 幹事
 - 幹事
 - 書記
- 第7条 本会の役員は、次の方法で決める。
- 名誉会長は、総会をもって推す。
 - 会長、副会長、幹事、会計監査、書記は、総会から選ぶ。
 - 幹事は、総会決議により正会員の中から委嘱する。
- 第8条 各役員は、それぞれその職務を担う。
- 会長は、本会を代表し、総務を総括する。
 - 副会長は、会長を助け、支障がある場合は代理する。
 - 会計監査は、会計監査を執行する。
 - 幹事は、本会を代表し、総務を執行する。
 - 幹事は、本会を代表し、総務を執行する。
 - 書記は、本会を代表し、総務を執行する。
- 第9条 役員は、任期は一年とし、再任を許さず、但し、役員は、任期満了前には、補充し、これによって就任した者の任期は、前者の残りの期間とする。

第四章 顧問

- 第10条 この会に顧問は若干名をおく。
- 顧問は、総会の決議により適任者を委嘱する。
 - 顧問は、会の訪問に応じる。

第五章 会議

- 第11条 会議を分けて、定期総会、臨時総会、役員会及び事業委員会とする。
- 第12条 総会は、最高議決機関で毎年1回開く。臨時総会は、役員会が必要と認められた時、会長が召集する。
- 第13条 総会は、次のことを決める。
- 会則の変更と改正
 - 決算及び予算
 - 事業委員会の組織
 - その他緊急事項の協議
- 第14条 役員会は、会長が認められた時召集し、次のことを決める。
- 総会に附随する諸事項
 - この会の委員会の組織
 - その他緊急事項の協議
- 第15条 事業委員会は、必要に応じて役員により組織し、第4条に掲げる事業についてその事務を処する。
- 第16条 会議の議決は、出席者の過半数をもって決定し、賛否同数の時は議長がこれを決定する。

第六章 会計

- 第17条 この会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入を以てする。
- 第18条 正会員の終身会費として、入会時に10,000円を納入しなければならない。この会の会計年度は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第七章 委任事項

- 第19条 この会則に定めのあるもののほか、必要な事項は役員会においてこれを定める。

付則

本会則は、平成8年度から施行する。旧会則で正会員であったものは、本会則における正会員に移行する。

五三會活動報告

平成19年度（2007年度）「五三會」活動報告

幹事長 古本 竜一（85年卒）

「五三會」總會

- ・前年度の活動報告と決算報告
 - ・今年度の活動計画・予算案の検討、役員改選
- 開催日：平成19年4月28日
場 所：アステールプラザ

「五三會事務局」

〒731-5193
広島市佐伯区三宅2丁目1-1
広島工業大学環境学部環境デザイン学科
菅原研究室内 TEL 082-921-3121

幹事会

平成19年度は10回の幹事会を開催

場所：まちづくり市民交流プラザ、東急イン他

- ・役員及び担当幹事が各事業の実施について協議・決定する
- ・事業部会・委員会を分科会として設置している

平成19年度役員

[会 長]	渡辺 武彦 (69年卒)
[副 会 長]	松田 智仁 (80年卒)
	平田 欽也 (85年卒)
[会 計]	田中 義登 (88年卒)
	小瀧 宏治 (94年卒)
[会 計 監 査]	神垣 聡志 (86年卒)
	吉谷 勝美 (89年卒)
[書 記]	織田 一昭 (90年卒)
	奥野 功貴 (92年卒)
[幹 事 長]	古本 竜一 (87年卒)
[副 幹 事 長]	三島 久範 (85年卒)
	盛岡 隆治 (87年卒)
[顧 問]	梶山 孝之 (74年卒)

各事業部会	事業内容	担当幹事名
交流事業部会	「卒業生（五三會）を講師とした業界研究」の開催 平成19年11月12日／広島工業大学4号館-101号室 環境デザイン学科主催の就職ガイダンスに共催 「五三會交流会」の開催（学生とOBとの交流会） 平成19年11月12日／大会館203号室 教員とOB15名、学生50名参加 「五三會忘年会」の開催 平成19年12月15日／丸海屋 教員とOB19名、学生28名参加	[主幹事] 吉川 英明 木下 和夫 田中 義登 大田 知典 織田 一昭 野田 久登 在學生
デザイン活動推進事業部会	「五三會建築見学会」の開催 平成19年9月29日／出雲大社・出雲文化プレイス他 学生部会「匠会」と共催 「第34回 五三會建築設計競技」の開催 平成19年12月15日／まちづくり市民交流プラザ 公開審査会・表彰式、テーマ「もてなしの水辺」 審査委員：河口 佳介氏、谷尻 誠氏、 土井 一秀氏、古本 竜一氏	[主幹事] 岡田 英治 松田 智仁 三島 久範 盛岡 隆治 弘津 貴司 黒瀬 尚範 石川 誠 中平 順也 花本 大作 大野 慶雄 横川 貴史 奥田 秀樹 清水 貴史 鷺見 和高 渡邊 千泰 在學生
広報事業部会	会報誌「五三會」第35号の発行 五三會ホームページの管理・更新	[主幹事] 松田 智仁 平田 欽也 三好 柁一 木下 和夫 田中 義登
広告委員会	広告主への依頼、広告内容の調整 会報誌・ホームページに掲載いただく広告主の窓口	[主幹事] 織田 一昭 落合 木堂 神垣 聡志 内田 康裕
名簿委員会	正会員名簿の更新・管理 入会案内・会報誌の送付	[主幹事] 平田 欽也 手越 義昭
顕彰制度認定委員会	五三會榮譽賞の認定（今年度は該当者なし） 五三會の社会的地位を高めることに寄与した会員を表彰 五三會学生大賞の認定 その年度における卒業設計優秀作品を表彰	[主幹事] 村上 徹 菅原 辰幸 渡辺 武彦 梶山 孝之 西宮 善幸 北野 俊二 三島 久範 平田 欽也 古本 竜一

「五三会（いつみかい）」ホームページにアドレス登録してください!

五三会の会員、非会員にかかわらず同窓生の皆様を対象に、アドレス登録キャンペーンを実施いたします。抽選で100名様に図書カードが当たる年間キャンペーンです。(～2009.3) ぜひこの機会に貴方のアドレスをご登録ください。同窓会、また建築業界お役立ち情報をメール配信します。

「五三会」のホームページを開き、右上の「五三会ホームページへアドレス登録のお願い」若しくは中央にある「アドレス登録してください!」をクリック!パスワード登録を行ってください。

もちろん皆さまのアドレスは厳重に管理し、「五三会」の運用以外に使用することはありませんのでご安心ください。

The screenshot shows the ITSUMIKAI website homepage. A large banner at the top reads "ITSUMIKAI" and "五三会ホームページへアドレス登録のお願い!". A callout box labeled "1" points to the top right navigation area, specifically the link "五三会ホームページへアドレス登録のお願い!". A second callout box labeled "2" points to a central banner that says "同窓生の皆様へ「五三会(いつみかい)ホームページにアドレス登録してください!". A large black arrow labeled "別ウインドウ" (Open in new window) points from the registration link to the registration page shown in the bottom section.

広島工業大学建築・環境系同窓会「五三会(いつみかい)ホームページにアドレス登録してください!

同窓会雑誌を次号より紙面に休刊し、ホームページに全面移行することとなりました。今後より多くの情報を発信・受信するため、会員、非会員にかかわらず同窓生の皆様アドレス登録をお願いしております。是非、キャンペーン実施中のこの機会にアドレス登録をお願いします。

年間キャンペーンを実施中

詳しくはこちらをCL

★☆☆五三会の会員の方にも、ご登録いただけます。☆☆☆

③ **アドレス登録**
メールアドレスをオンラインで登録してアドレス登録

ここをクリックして
アドレス登録

● **登録アドレス・登録パスワード変更**
登録いただいたアドレスやパスワードをオンラインにて変更していただけます。

アドレス・パスワード登録修正 アドレス及び、パスワード変更はこちらからお願、します。

<http://www.itsumikai.jp/>

▲五三会ホームページURL▲

五三会ホームページ(TOP)にある、
①「アドレス登録のお願い」(テキストリンク)
②「アドレス登録してください!」(画像)リンク(①②上図)より、③のページ(左図)を表示します。
このページにある③「アドレス登録」(テキストリンク/左図)をクリックします。
表示された先に、必要な項目を記入・確認して登録してください。

五三会の会員・非会員に関わらず同窓生の皆様が対象

登録の皆様は五三会活動投稿情報を提供します

年間キャンペーン実施中

五三会活動報告

平成19年度収支決算報告 (平成20年3月1日現在)

◆収入の部				(単位 円)
繰	越	金		4,681,645
新	員	費		426,020
広	告	料		229,580
利	収	入		418
合		計		5,337,663
◆支出の部				(単位 円)
会	議	費		81,466
バ	イ	下		95,000
名	簿	成		9,386
印	融	機		30,725
金	機	関		1,890
雑		手		2,805
広	報	報		123,300
会	報	誌		119,070
会	報	誌		114,050
広	報	告		60,000
デ	ザ	イ		350,149
企	画	活		18,075
交	流	事		104,600
学	生	大		4,790
子	繰	越		0
繰		金		4,222,357
合		計		5,337,663

平成20年度収支予算(案)

◆収入の部				(単位 円)
繰	越	金		4,222,357
新	員	費		800,000
広	告	料		200,000
合		計		5,711,645
◆支出の部				(単位 円)
会	議	費		100,000
バ	イ	下		90,000
名	簿	成		10,000
印	融	機		40,000
金	機	関		1,000
雑		手		10,000
広	報	報		120,000
会	報	誌		120,000
会	報	誌		120,000
広	報	告		60,000
デ	ザ	イ		350,000
企	画	活		100,000
交	流	事		50,000
学	生	大		20,000
子	繰	越		100,000
繰		金		3,931,357
合		計		5,222,357

建築学科記念事業基金収支決算報告

平成18年度収支決算報告 (平成19年3月1日現在)

◆収入の部				(単位 円)
繰	越	金		687,152
利	息	収		801
合		計		687,953
◆支出の部				(単位 円)
雑		費		0
在	学	生		92,052
在	学	生		0
繰	越	金		595,901
合		計		687,953

平成19年度収支予算(案)

◆収入の部				(単位 円)
繰	越	金		595,901
合		計		595,901
◆支出の部				(単位 円)
雑		費		10,000
在	学	生		200,000
在	学	生		150,000
在	記	念		100,000
繰	越	金		135,901
合		計		595,901

広島工業大学 建築・環境系教職員名簿

氏名 職名 担当分野

[工学部 建設工学科 建築工学コース]

佐藤 立美	教授	建築構造
高松 隆夫	教授	建築構造
岩井 哲	教授	建築構造
清田 誠良	教授	建築環境
宮崎 祐助	教授	建築構造
福田 由美子	准教授	建築計画
玉井 宏章	准教授	建築構造
酒井 久和	准教授	建築生産
栗崎 真一郎	准教授	建築計画
貞末 和史	講師	建築構造

[環境学部 環境デザイン学科]

水田 一征	教授	建築意匠・建築論
篠原 道正	教授	建築設備・環境計画
森保 洋之	教授	建築計画・地区計画
菅原 辰幸	教授	都市・地域計画
野添 久視	教授	建築構造
黒岩 俊介	教授	建築歴史・意匠
上嶋 英機	教授	海域環境管理・修復
三村 泰臣	教授	生活文化
青山 吉隆	教授	都市環境政策
村上 徹	教授	建築デザイン設計
樋口 忠彦	教授	緑地・景観計画
廣川 協一	准教授	建築計画・地域施設計画
手越 義昭	准教授	建築情報システム技術
三好 孝治	准教授	地図情報処理
平田 圭子	准教授	インテリア計画・ユニバーサルデザイン
遠藤 吉生	准教授	建築デザイン設計
杉田 洋	准教授	建築経済・ファシリティーマネジメント
前田 真子	講師	住宅計画
楠木 佳子	講師	英語



▲学生大賞 北来 浩樹
同好結合
-船橋西古谷住宅の再生-



◀奨励賞 遠茂谷 貴子
女性が学ぶ場から
広がる空間

▼奨励賞 三好 絢子
Alternative Hiroshima



スポンサー一覧

(順不同)

山本窯業化工(株)広島営業所
(株)INAX中国支社
(株)島屋
東陶機器(株)中国支社
シンコー広島(株)

広島菱重興産(株)
正田建設(株)
(株)日立ビルシステム中国支社
サン・フロアホーム(株)
大昌工芸(株)

五三会事務局・第35号会誌についての表記

<p>「五三会」第35号編集委員 松田智仁 (80年卒) 平田欽也 (85年卒) 三好征一 (97年卒)</p>	<p>広島工業大学 建築・環境系同窓会会誌 「五三会」第35号</p>
<p>五三会事務局 (連絡先) 〒731-5143 広島県広島市佐伯区三宅二丁目1番1号 広島工業大学環境学部環境デザイン学科 菅原研究室内 TEL.082-921-3121 (代)</p>	<p>編集責任者 平田 欽也 発行責任者 渡辺 武彦 企画・制作 ハローデンイン株式会社 有限会社工房知の匠 発行 平成20年3月</p>